

千葉県いすみ市とRobiZyによる災害時支援協定 2021年1月22日



人間の力だけでは解決できない未曾有の課題を、ロボットを利用することで解決したい。

RobiZy が窓口になって自治体と協定を結び、RobiZy が複数の会員企業と提携することで、災害時の自治体の負担(協定企業・ロボットの管理、ロボット派遣時の連絡等)を減らすことができます。

また、RobiZy の日本全国にいる会員企業と支援協定を結ぶことにより、被災していない地域の企業が支援ができ、災害時支援の確実性が高いと考えています。

災害時支援における広い範囲をカバーすることを目指す。



1社では実現できない支援
をRobiZyという
プラットフォームで提供。



<News Release>
2021年1月22日
特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)
理事長 佐藤 知正

千葉県いすみ市とRobiZyによる災害時支援協定

NPO法人ロボットビジネス支援機構(理事長:佐藤 知正)は、2021年1月22日、千葉県いすみ市と「災害時支援協定」を締結いたしました。この「災害時支援協定」では、ロボット全般での災害支援を行います。

1. 協定の目的

近年、台風や地震などにより全国各地で甚大な被害を受けており、災害現場でロボットの有効活用が期待される一方、様々な課題があり利用されていない現状があります。RobiZyはロボットの普及と効率化・ビジネス化を支援する団体で20以上の会員企業が構成しています。そのネットワークを活かし、ロボットを通じた防災訓練などの事前教育も行うことで、うまく活用が進んでいない災害現場にも適切なロボットを迅速に導入・運用サポートを行うことを目표します。

2. 協定の範囲

災害時支援における下記(1)～(5)の広い範囲をカバーすることを目指し、操作体験等でロボットの利活用を協議しながら検討していく予定です。

- (1) 平常時：ロボットの利活用を促進。スマート農業、スマートシティでロボットを利用等。
- (2) 発災時：ドローンによる状況把握、避難所運営での検温ロボットや消毒ロボット利用等。
- (3) 復旧時：運搬ロボットによる重量物運搬サポート、コミュニケーションロボットでの被災者の精神ケア等。
- (4) 復興時：ロボットを利用した復興事業支援等。
- (5) 対策時：防災訓練でロボット操作を実践。AIハザードマップ作成などで減災・防災対策、協議会等で災害対策について学ぶ。

3. RobiZyと災害時支援協定締結式メモリック

RobiZyが町会によって自治体と協定を結び、RobiZyが複数の会員企業と提携することで、まとめて複数のロボットが利用可能になります。さらに緊急時や災害時等の自治体の負担(協定企業・ロボットの管理、ロボット派遣時の連絡等)を減らすことができます。

また、RobiZyの日本全国にいる会員企業と支援協定を結ぶことにより、被災していない地域の企業が支援することができる、災害時支援の確実性が高まります。

<本件の担当者/合意せ先>

[RobiZy災害時支援協定窓口担当：株式会社ロボットコネクト]
〒101-0027 東京都千代田区日比谷2-17 丹波ビル2階
代表取締役 末廣 勝也 TEL: 03-6869-9744 <http://robot-connect.com/>
[NPO法人ロボットビジネス支援機構 (RobiZy) 事務局]
〒101-0052 東京都中央区神田川町2-10 齊木ビル8階
広報グループ 担当：丸山 TEL: 03-6520-5048 Mail : info@robiZy.co.jp
(RobiZy活動内容・会員等) <http://www.robiZy.co.jp/>

①平常時

常時、ロボットの利活用を促進。スマート農業、スマートシティでロボットを利用等。

②発災時

ドローンによる状況把握、避難所運営での検温ロボットや消毒ロボット利用等。

③復旧時

運搬ロボットによる重量物運搬サポート、コミュニケーションロボットでの被災者の精神ケア等。

④復興時

ロボットを利用した復興事業支援等。

⑤対策時

防災訓練でロボット操作を習得、AIハザードマップ作成などで減災・防災対策、協議会等で災害対策について学ぶ。